

政策	43 健康づくりの充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
基本施策目的	市民の健康を保持するための総合的な取り組みや意識の啓発を図るとともに、妊娠・出産・乳幼児期を通して親と子の健康を確保する。							
成果指標	1 健康づくり対策に対する市民満足度 2 標準化死亡比(SMR)がん 3 標準化死亡比(SMR)心疾患 4 標準化死亡比(SMR)脳血管疾患							
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [ % ]	予定				80.00	/	
		実績						
	成果指標2 [ ]	予定	100.60	100.40	100.20	100.10	100.00	/
		実績	103.80					
	成果指標3 [ ]	予定	113.00	110.00	106.00	103.00	100.00	/
		実績	120.80					
	成果指標4 [ ]	予定	132.00	127.00	118.00	109.00	100.00	/
実績		141.70						
トータルコスト (千円)	予定	1,391,901	0	0	0	0	/	
	実績	1,144,950	0	0	0	0		
内部評価	貢献度	基本施策の目標として、健康づくりを充実させることは、基本方針が目指す健康で生きがいのあるまちづくりに大きく貢献する。						
	達成状況	単位施策については概ね達成できてはいるが、3大生活習慣病の標準化死亡比を低下させ全国平均に近づけることは出来なかった。						
	課題	さらなる目標の達成のためには、今後それぞれの事業での、内容の充実や運営の工夫等が求められる。						
	取組方針	本庁・支所はもちろん、市民、関係団体、各機関と綿密な連携を取りながら、健康寿命の延伸を念頭に、各種施策を再検討する。						
外部評価	受診に関する勧奨が不十分であるので、自治会と行政が連携・協働により受診に対する勧奨ができる仕組みを構築し、受診率の向上に努め予防対策の充実を図り、市民健康寿命の伸長に寄与すること。また、三大生活習慣病の標準化死亡比については、引き続き100以下を目指よう努力すること。 けんしんパスポート・ガイドブックがより良いものとなるよう内容等を検証しながら事業の拡充を図るとともに、送付したパスポートやガイドブックが十分活用されるよう、例えば、健康教室を開催する際には、折に触れてパスポートやガイドブックの説明を行い、受診率の向上に努め予防対策の強化に工夫を凝らすこと。							
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	4302	市民の健康づくり支援				259,995	100	
	4303	母子保健の充実				217,456	100	
	4301	予防対策の強化				667,499	92	